

# 性商品化から子どもを守る

## つなぐ 明日へ-2016

人身取引被害者サポートセンター  
ライトハウス

瀬川愛葵さん(24)

児童買春に児童ポルノ、JK(女子高生)ビジネス。「性の商品化」による子どもたちの被害が深刻化しています。「子どもの性が売りに買われ、一人ひとりの人権が尊重され

る社会をつくりたい」被害者の救済、支援をおこなう「人身取引被害者サポートセンター」ライトハウスの瀬川愛葵(あいき)さん(24)の決意です。スタッフ最年少ながら、広報・アドボカシ

## 寄り添うことで世界変える

ライトハウスの瀬川愛葵さん



「(政策提言) マネジヤーを担います。議員との面談、企業関係者や教師を対象にした講演もおこないます。訴えるのは深刻な実態と対策の弱さ。警察庁のまとめでは、2014年の1年間で摘発された児童ポルノ事件は1828件と過去最

多です。「誰でも被害者になりうる。そして計り知れない傷を子どもたちと与えていることを知ってほしい」AV出演強要

「誰でも被害者になりうる。そして計り知れない傷を子どもたちと与えていることを知ってほしい」AV出演強要

「子どもや若者たちの性が暴力的に搾取される現実に向きあう日々は「精神的にめいる」ことも。「その感覚も大事にしたい。慣れたらいけない。被害者が抱える傷や孤独は、私の感じる痛みとは比べものにならない」

「出前授業」もおこないます。街やネットにあふれる性情報を「当たり前にしてはいけない。そこに踏みつづざれている人権を考えてほしい」と伝えます。生徒たちの「こんな社会は許せない」という純粋な反応がうれしい。

「あの日々思ったんです。目の前の一人に寄り添い、地道に向き合うことで世界は変えられる。この思いはずっと変わりません」

性犯罪の危険性を分かりやすく伝える啓発マンガ「ブルー・ハート」。瀬川さんたちが企画し、昨年発行。台湾では中国語にも翻訳され配布されました

「被害者にも加害者にもならないために」と高校や中学校での

「夢は世界中の子どもたちが安心して笑顔で生きられる社会をつくること。きっと壁は多いけれど、今は自分のできることを地道に精いっぱいやりたい」

「救えるのは数百人です。目の前の一人に寄り添い、地道に向き合うことで世界は変えられる。この思いはずっと変わりません」

相談窓口ホットライン  
相談窓口はホットライン電話0120(879) 871(平日午前10時~午後7時)。メール soudan@lhj.jp

(瀬川愛葵)